

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | みらいポケットにしわき | | 公表日 | | 2026 年 1月 22日 | |
|---------|----|---|-----|-----|---|---|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| | | | % | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 100 | 0 | 主な活動スペースの他、和室・個室等も完備している | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 86 | 14 | 日によって利用者特性も考慮して配置している | ・ こどもの特性に応じてもう一人職員を配置した方が良いと感じる時があるという意見あり。特性考慮し職員配置を行っているので、今後も引き続き職員個々のスキルアップに努める | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 71 | 29 | ・ 児発では絵カード・放デイでは文字でのスケジュール提示を行っている | ・ 元々病院だった建物を改装して使用しているため、不便なことがあり、階段もバリアフリー化が出来ていない ・ 視覚的ツールが少ないという意見もあるため再考の必要がある | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 86 | 14 | ・ 各事業終了毎に掃除を行っている ・ 空気清浄機やオゾン発生機を使用している ・ 毎月、季節に応じた装飾を行っている | ・ 活動に合わせて空間に仕切れていないことも多いと感じるという意見もあるため、活動提供方法の検討を行なう必要がある | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 100 | 0 | ・ 適時個室利用出来るようにしている ・ 不穏時にも個室利用出来るようにしている | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 71 | 29 | ・ 振り返りや確認の場を設けている ・ 半期毎に目標設定を行い、毎月振り返りを行っている | ・ 全職員が主体的に参画できる体制の構築が課題点である | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100 | 0 | ・ 目につく場所に提示を行い、いつでも確認出来るようにしている | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 100 | 0 | ・ 年2回個別での面談の機会を設けている | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 100 | | ・ 実施出来ていないので今後、必要に応じて検討を行う | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 100 | 0 | | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 100 | 0 | ・ 法人ホームページにて公表している | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。 | 100 | 0 | ・ 半年に1回以上行っている | | |
| | 13 | 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 100 | 0 | ・ 個別支援計画案作成後、全職員に意見を出してもらい決定している | | |
| | 14 | 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 86 | 14 | ・ 共有は行っている ・ 共有のための声かけは行えている ・ 個別支援計画作成時・じっし3ヶ月経過時・モニタリング前に全職員で再確認する場を設けている | ・ 個別支援計画に沿って支援を行えるように職員間での情報共有を徹底する | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 71 | 29 | ・ 児童発達支援については個別にツールを使用している | | |
| | 16 | 個別支援計画には、児童発達支援・放課後等デイサービスそれぞれのガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 100 | 0 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|-----|-----|---|---|
| 適切な支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 86 | 14 | | 活動内容及び担当者の決定が、一部の職員に偏ることなく全職員が主体的にできるようにすることを課題とする |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 100 | 0 | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 100 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 57 | 43 | <ul style="list-style-type: none"> ・各自で役割分担の確認ができるようにしている ・全体での連携は心掛けている ・支援時間内で確認を行う事は出来ている ・当日までに相談をしている | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日必ず行えているとはいえない ・前日までに把握出来ている時もあれば直前までわからない事もあるため、時間に余裕を持った打ち合わせを心がける |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 29 | 71 | <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせは行っていないが、記録としては残し共有している ・また口頭等にて共有は行っている ・全体では難しいが後日行っている | <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の都合により、時間的な余裕がないことも多い |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・各スケジュール毎に各利用者の支援についての記録をとっている | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回以上は行っている | |
| | 24 | (放課後等デイサービス対象) 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | 100 | 0 | | |
| | 25 | (個別支援計画対象) こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 71 | 29 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人差はあるが、言葉のやりとりを増やす努力は常にしていると思う ・各利用者によって、二者択一や自分で考える場を作っている ・活動内で自己決定の練習になることも取り入れている | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・児発管の他、保育士や児童指導員も参画している | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども園とは連携し支援を行えている | |
| | 28 | (児童発達支援対象) 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども園との相互の見学を行い情報共有が出来ている | |
| | 29 | (放課後等デイサービス対象) 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事予定や下校時間については各保護者より確認を行っている ・学校とは必要に応じて連絡調整を行う事がある | |
| | 30 | (児童発達支援の場合) 就学児の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）／（放課後等デイサービスの場合）就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報共有の場を設け当事業所での様子を伝えている | |
| | 31 | (放課後等デイサービス対象) 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 100 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報共有の場を設け当事業所での様子を伝えている | |
| | 32 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 0 | 100 | | |
| | 33 | (児童発達支援の場合) 保育所や認定こども園、幼稚園等・（放課後等デイサービスの場合）放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 57 | 43 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のクリスマスコンサートに参加 | |
| | 34 | (放課後等デイサービス対象) (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | 100 | 0 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|-----|-----|---------------------------------------|-----------------------------------|
| | 35 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 100 | 0 | | |
| | 36 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 0 | 100 | | |
| 保護者への説明等 | 37 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 100 | 0 | ・契約時に説明を行っている ・支援プログラムについては公表している | |
| | 38 | 個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 100 | 0 | | |
| | 39 | 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 100 | 0 | | |
| | 40 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 100 | 0 | ・必要に応じて適時行っている | |
| | 41 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 100 | | ・今後、検討したい |
| | 42 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 100 | 0 | | |
| | 43 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 100 | 0 | ・月1回のおたより配布、適時Instagramでの活動内容発信を行っている | |
| | 44 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 100 | 0 | | |
| | 45 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 100 | 0 | | |
| | 46 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 29 | 71 | ・広く招待することは出来ていませんが近隣の高校生との交流を図っている | |
| 非常時等の対応 | 47 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 100 | 0 | ・要望に応じて、閲覧できる事を保護者への周知を行っている | |
| | 48 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 100 | 0 | | |
| | 49 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 100 | 0 | | ・今までに受けた予防接種については確認出来ていない |
| | 50 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 100 | 0 | ・保護者より口頭等で伺っている対応方法を職員間で周知している | ・今後、指示書をもらう事を検討する |
| | 51 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 100 | 0 | | |
| | 52 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 0 | 100 | | ・計画は立てているが案内文面に漏れ落ちがあったため、今後周知を行う |
| | 53 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 100 | 0 | | |
| | 54 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 100 | 0 | | |
| | 55 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。 | 100 | 0 | ・必要に応じて同意書を作成している | |